

株式会社三機サービス
(東証一部：6044)
第2四半期決算説明会資料

SANKI SERVICE

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。

1. 当社について
2. 業績ハイライト
3. 中期経営計画進捗
4. 成長戦略
5. 業績予想

1. 当社について

会社概要

設立	1977年7月
資本金	568,940千円（2019年5月）
売上高	連結110.5億円（2019年5月）
従業員数	連結418名（2019年5月）
代表者名	代表取締役社長 中島 義兼
本社	兵庫県姫路市
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
ビジョン	環境世紀のリーディングカンパニーとして、顧客満足の高みと、働く一人ひとりの人生の充実をめざしながら、当社が提供する価値を世界へと広げていきます。

当社事業の4領域

多店舗企業を軸とした



設備全般を対象とした

**トータル
メンテナンス**



空調機器に特化した

**空調保守
メンテナンス**



環境改善を目的とした

**設備・環境
ソリューション**



多能工化を目指した

**メンテナンス
サービス**

24H稼働のコールセンターを核とし蓄積された技術力やノウハウ

事業拡大・サービスの内製化による利益率の向上

トータルメンテナンス

株式会社ライフコーポレーション

関西約 60 店舗にて【ワンストップサービス】を実現
空調に加えて厨房設備なども含む
全設備のメンテナンス、店舗管理（警備・清掃）を
一括して受託



空調保守メンテナンス

株式会社セブン-イレブン-ジャパン

全国約20,000店舗の空調保守・メンテナンス

今期より、給排水も受託





病院・学校などを始め 公共性が高い施設などの 環境設備管理・ ソリューション事業

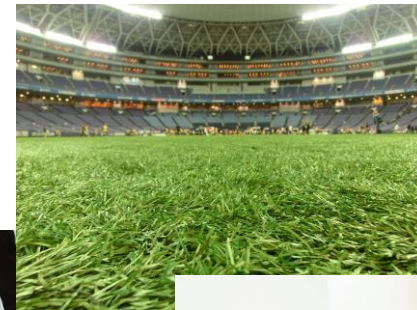
インバーター化による
省エネルギー提案

環境に配慮した
LED化・太陽光発電の導入

メンテナンスサービス

大型施設中心とした メーカー指定 空調保守メンテナンス

- ・大型ドーム野球場
- ・ショッピングモール
- ・ホテル
- ・美術館等





多岐にわたる製品群の メンテナンス業務

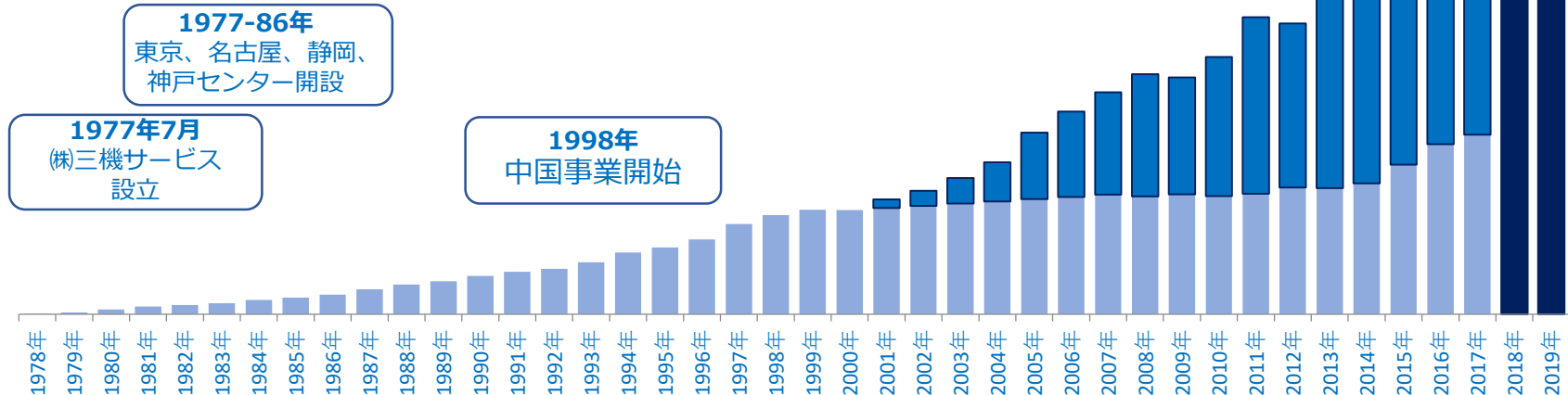
本社内に研修センターを開設
新入社員も約 1 年研修を受け、技術習得

高い技術力で
顧客のニーズに対応

事業成長推移

**安定的な高利益ビジネスと
成長性の高いビジネスの
相乗効果で成長加速**

単位：百万円



**メーカー指定 空調メンテナンス事業
ストックビジネスによる安定成長**

**トータルメンテナンス事業
成長が加速**

2. 業績ハイライト

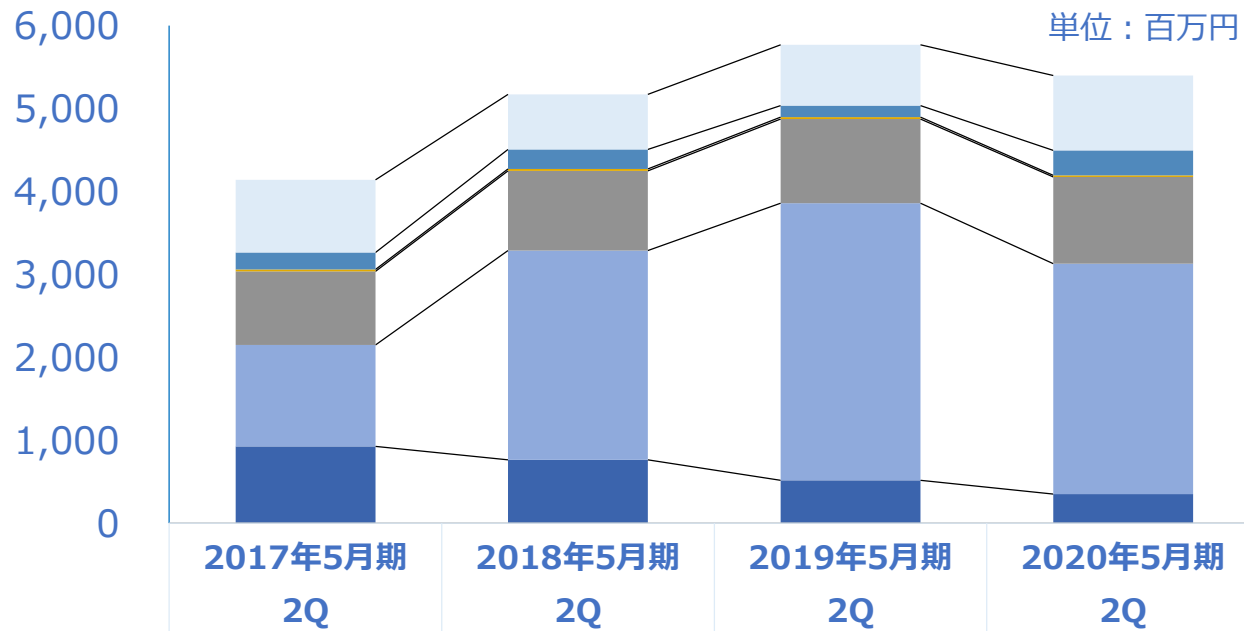
2020年5月期2Q決算概要 ハイライト

売上高は、省エネ工事の受注が順調だったものの、前第2四半期連結累計期間での災害復旧対策工事や大口の改修工事等による影響で減少

また、売上総利益は、原価の圧縮に伴い、改善したものの大手顧客向け体制強化のための人件費・採用コスト増、ならびに、新基幹システム導入を行い、販管費が増加した結果、営業利益が減少

	2019年5月期 2Q	2020年5月期 2Q	増減率	対計画	達成率
売上高	5,931	5,584	△5.8%	4,840	115%
売上総利益	1,255	1,286	+2.4%	-	-
営業利益	393	183	△53.3%	240	76%
営業利益率	6.6%	3.3%	-	-	-
四半期 純利益	273	130	△52.2%	156	83%

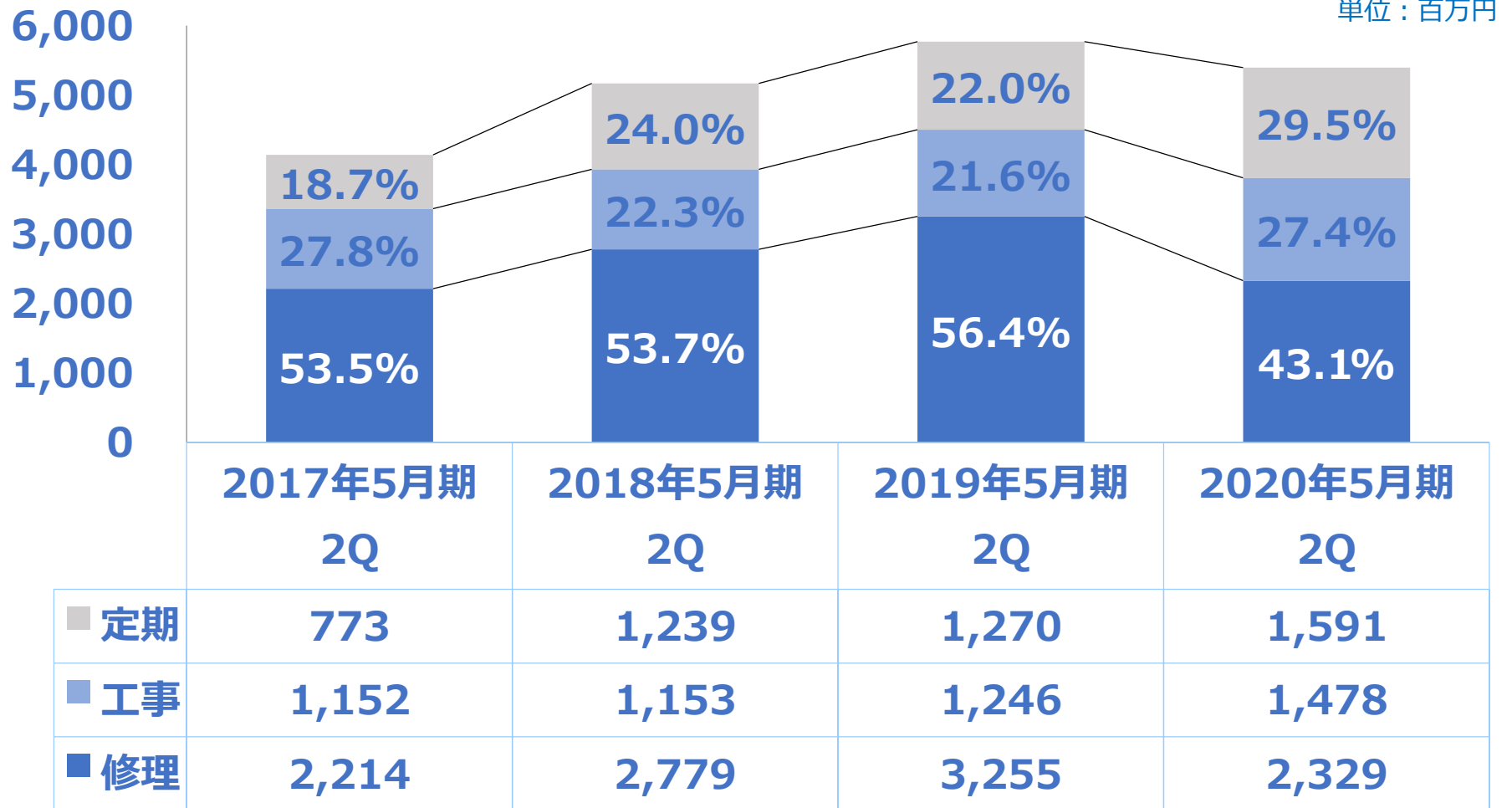
顧客属性別売上構成比



■ 06.その他	876	662	735	902
■ 05.医療・介護・福祉	202	235	138	300
■ 04.イベント施設	24	25	25	21
■ 03.設備管理・不動産	888	959	1,014	1,046
■ 02.小売業	1,224	2,528	3,344	2,778
■ 01.飲食	926	762	515	352
合計	4,140	5,171	5,771	5,398

※ 数値は単体ベース

サービス種別 売上構成比推移

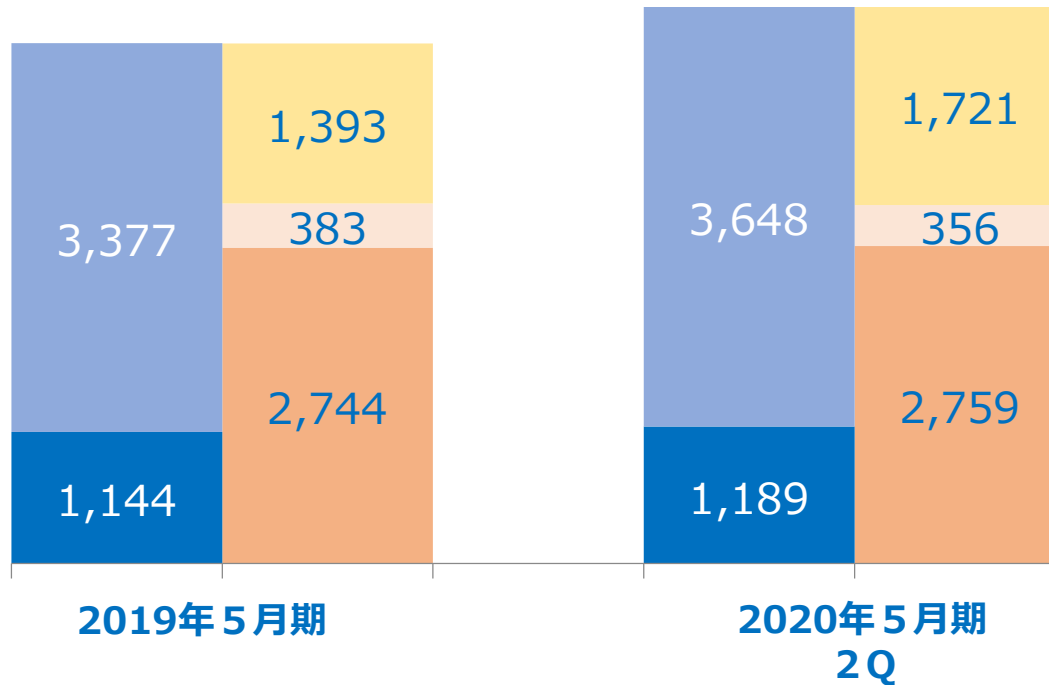


* 工事、修理区分は、2020年5月期～新システム移行により新基準による集計

連結貸借対照表

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債 ■ 固定資産 ■ 流動資産

単位：百万円



● 自己資本比率

60.7% → 56.6%

主な増減要因

単位：百万円

(資産)

- △ 195 現金及び預金
- + 418 売掛金
- + 62 未成工事支出金
- + 43 ソフトウェア関連

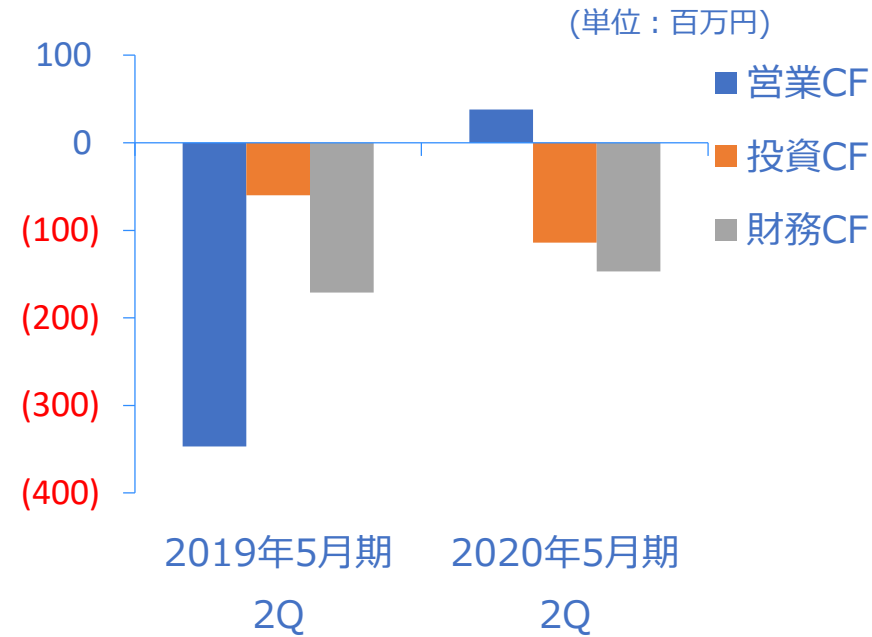
(負債)

- + 233 工事未払金
- + 26 前受金
- + 24 未払消費税 等

(純資産)

- + 44 新株発行
- △ 175 配当金の支払い
- + 130 四半期純利益
- + 20 非支配株主持分

連結キャッシュフロー計算書



主な増減要因

(営業活動CF)

- △ 2 1 2 税引前当期純利益の減少
- + 4 1 売上債権の減少
- + 2 2 6 仕入債務の増加
- + 1 4 2 その他流動負債の増加
- + 1 2 5 法人税等の支払額の減少

(投資活動CF)

- △ 2 3 定期預金の払戻による支出の増加
- △ 3 1 無形固有資産の取得による支出の増加

(財務活動CF)

- + 2 3 株式の発行による収入の増加
- △ 1 3 配当金の支払額の増加
- + 2 9 非支配株主の払込による増加

(単位：百万円)

	2019年 5月期 2Q	2020年 5月期 2Q	増減
営業活動CF	△347	38	385
投資活動CF	△60	△114	△54
財務活動CF	△171	△147	24
期末残高	781	851	70

3. 中期経営計画進捗

中期経営計画 数値目標

	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期
売上高	121億円	133億円	150億円
営業利益	6.0億円	7.2億円	9.5億円
営業利益率	5.0%	5.4%	6.3%
ROE	13.7%	14.9%	17.6%

フェーズ 1

次なる成長のための
 営業基盤の強化

フェーズ 2

変革と
 持続的成長

中期経営計画2022の基本戦略

43期進捗

経営基盤	1	新企業理念の浸透	<ul style="list-style-type: none"> ・新企業理念を様々なツールで社内に浸透させ、対外的にもPRをしていく ・新企業理念に基づく、社員教育と新規採用を実施し、理念を具現化できる社員を増やす
	2	人事制度改革	<ul style="list-style-type: none"> ・労働の価値を属人要素や時間・経験を中心とした「量」的判断から仕事への期待と成果を中心とする「質」へのシフトを前提とした制度の構築と運用 ・経営理念を具現化する”行動力”を持った社員を生み出す仕組みとして定着させる
事業成長	3	サービス内製化の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積された技術力やメンテナンスノウハウの活用し、サービスの内製化による利益率向上を図る ・本社研修センターを活用し、自社メンテナンスエンジニアの短期育成と多能工化を推進する
	4	トータルメンテナンスサービスの品質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・コールセンターのオペレーターの教育指導を通じた知識・対応力向上および、管理業務の標準化による多様なサービスメニューを顧客に提供 ・パートナーの新規開拓および、品質管理の強化
	5	新たな環境ビジネスの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・省エネなどのビジネスを他企業とのアライアンスなどを通じて創出し、当社の新たな成長ドライバーに育てる
	6	営業体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・法人営業推進部を新設し、提案先の業界構造や課題を分析し、ターゲットを明確化 ・お客様のニーズや課題を的確に捉え、ソリューション活動を推進し、お客様満足度を向上させる
	7	海外事業収益力強化(中国・ベトナム)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外事業部を新設し、子会社と合併会社の経営資源を管理し、最適な資源配分を行う また、顧客基盤の開拓やアライアンスを通じた新商材開発など、事業支援をする
	8	ITシステムの競争力	<ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大を継続し、競合との差別化を図るため、営業基幹システムへの投資を継続実施し、トータルメンテナンスサービスの業務効率化や提案力をさらに向上をさせていく

TV PR
雑誌

来期改定
予定

外注から
内製へ

標準化
推進中

省エネ工事
推進

法人営業部
新設

海外支援
体制強化

9月～
導入済

4. 成長戦略

当社を取り巻く 外部環境 メンテナンス業界

- 設備の維持管理コスト減少
省エネ意識の向上
- 突発的な故障の発生を減少させるための
保全メンテナンス
- **小売業や飲食業を中心とした多店舗展開企業**
働き方改革によるメンテナンス管理の
一括アウトソーシング化
- 病院や介護施設の増加に伴う
市場の拡大



ニーズの高まり

当社の成長戦略

戦略の方向性

- メーカー指定店としてメンテナンスサービス
空調内製化の拡大とエンジニアの多能工化
- 設備全般を対象にするトータルメンテナンスサービス
品質向上及び、付加価値提案の強化
- インバーター化等環境改善を目的とした省エネサービス
企業アライアンス創出による受注強化



トピックス

株式会社 オークワ

<トータルメンテナンス事業> 業務委託契約締結

149店舗

和歌山、大阪、奈良、三重

兵庫、愛知、岐阜、静岡

ファシリティマネジメント（設備管理、保守等）の一括受注が決定。2月よりサービス提供開始予定。

5. 業績予想

2020年5月期 連結損益計算書

通期は変更なし

	2019年5月期 実績		2020年5月期 計画		2020年5 月期2Q	対前期
	(百万円)	利益率 ・配当性向 (%)	(百万円)	利益率・ 配当性向 (%)	(百万円)	増減率 (%)
売上高	11,050	-	12,100	-	5,584	+9.5
営業利益	652	5.9	600	5.0	183	△8.1
当期純利益	431	3.9	392	3.2	130	△9.1
一株当たり 当期純利益	(円) 74.25	-	(円) 67.22	-	-	-
期末 配当	(円) 30.0	(%) 40.4	(円) 30.0	(%) 44.6	-	-